

夏山山行 東北・岩手県の2座を登る

岩手山、早池峰山の花の山旅を楽しむ

<と き> 2017年7月14日(金)夜発～17日(月)

<参加者> 5人(男性2人、女性3人)

<天 候> 7/15 晴れ 7/16 雷雨後小雨 7/17 曇り

< コースタイム >

7/14 大阪・梅田 20:40 発の夜行バスで仙台へ
7/15 仙台駅前 8:27 レンタカーを借りて岩手山馬返登山口着 11:50 登山口スタート 12:15 ~ 一合目 13:13 ~ 三合目 14:07 ~ 五合目 15:04 ~ 六合目 ~ 15:52 ~ 七合目 16:40 ~ 八合目避難小屋 17:10
7/16 4時起床、雷雨のため様子を見る 避難小屋 4:50 発 ~ 不動平 5:11 (避難小屋に入り雷雨のため停滞、登頂は諦める) 6:30 発 ~ 八合目避難小屋 6:45、8:00 発 ~ 四合目 9:10 ~ 登山口 10:40 ~ 小岩井農場経由、早池峰山岳大和坊(民宿)へ移動
7/17 4時半起床 ~ リムジンバス 5:30 発 ~ 小田越登山口 6:00 発 ~ 岩陰で休憩 7:15 ~ 鉄梯子 7:43 ~ 剣ヶ峰分岐 7:54 ~ 早池峰山頂上 8:05、8:15 ~ 登山口へ下山 10:10 ~ 仙台空港 19:00 発 ANA で帰阪

< 山行の概要 >

花の名山で有名な早池峰山と比較的近くにあるということで岩手山の二座を登ってきた。梅雨末期で天気が心配であったが、残念ながら予想どおり、丁度私たちが登る頃、東北の山は荒れ、岩手山は雷雨の中の行動となって、九合目辺りまで行ったが登頂は断念して下山せざるをえなかった。しかし、岩手山も可愛いお花が私たちを楽しませてくれた。私たちが泊った八合目避難小屋は規模が大きく立派な建物で会った。

早池峰山も降雨が心配であったが、曇り空の中、ガスも出て途中からは強風となり、天候は良いとは言えなかったが、何とか予定どおり行動することができた。さすが花の名山と言われるようにハヤチネウスユキソウをはじめとする数多くの高山植物の花を楽しむことができた。小田越コースは最短時間で行けることから、多くの登山者が来ていた。山の自然を守るために地元のボランティアの方々が熱心に活動をされていた。

7/15~16 岩手山の巻



1. 岩手山馬返登山口駐車場に到着。出発準備をする



2. ここからスタート



3. 途中に薪が沢山積んであり、八合目避難小屋まで運んでほしいとのことで、我々もザックに付けて運び上げた



4. ここが実際のスタート地点



5. 最初は静かね樹林の中を進む



6. 道の脇に黄色いホトトギスがつつましく咲いていた



7. 一合目に到着。途中に0.5合目なるものがある、この間のナント長かったこと。



8. 豆腐岩前を通過



9. 2合目あたりのザレ場。展望は良かったが霞んで遠望がきかなかった



10. ニガナの花



11. 旧道は暑そうなので今回は新道を通り、新道三合目を通過



12. ヤマオダマキが結構たくさん咲いていた



13. ミヤマヤマブキショウマ(葉がヤマブキに似ている)



14. 五合目に到着



15. 白い花はミヤマカラマツ



16. ハクサンシャクナゲ



17. スイズラ科マルバゴマギ?と思うが、同定できない。誰か知ったら教えて...



18. 六合目。頂上まで後2.6kmの表示



19. 七合目 八合目の避難小屋まであと少し



20. 七合目先の展望の良いところで休憩。ここも下界は霞んでおり、遠望はいまひとつであった



21. 薄いピンクの花はイチヤクソウ



19. ミヤマウスユキソウ
イチヤクソウも右下にいる



20. やっと八合目避難小屋に到着
なんと大勢の登山者で大賑わいであった
これが「避難小屋」とは思えない立派な小
屋である



21. 三段の蚕棚の寝場所でくつろぐ
天井が低く、座高の高い私は何度も頭を
強打した



22. 翌日は雷雨の中をいざ出発したものの、雷
が鳴りやまない



23. しばらく灌木の樹林の中を進む



24. 一向に雷雨はおさまらない



25. 不動平に到着
この先にある避難小屋に入り、1時間程
様子を見たが、雷雨がおさまる兆しがな
く、登頂を諦めて下山することにした。



26. 出発地点に戻ってきた



27. 雨の中のひっそりとした八合目避難小屋



28. 小屋で朝食をとり、大ぶりの雨の中を一気
に下山した。前日の登りとは違いすごいスピ
ードで四合目に到着



29. 二合目のザレ場を一気に下る



30. 登山口に無事到着
カッパや濡れた衣類を片付け、この後駐車
場から次の早池峰山登山口へと移動を開
始した

7/17 早池峰山の巻



1. シャトルバスの乗り場の岳駐車場で5:30発のバスを待つ



2. シャトルバスに揺られること約25分。到着した小田越登山口から早池峰山めざして登山開始



3. 最初は針葉樹と広葉樹の混交林の中を歩く



4. 途中に設置されている簡易トイレ用のブース
早池峰山は自然保護のため、いわゆるキジウチ、オハナツミは禁止である。携帯トイレ持参が原則



5. 白い花はミヤマホツツジか？



6. ピンクの花はミヤマアズマギク



7. 森林限界を過ぎたあたりで、ヤヤ？、お目当てのハヤチネウスユキソウか？ これはどうもミネウスユキソウのようであった



8. ガスの中ではあるが、いろんなお花が出て迎えてくれる。そして、しばし眺める



9. これは間違いなくハヤチネウスユキソウである(白い花)。このあたりからあちこちにハヤチネウスユキソウを見ることができた



10. 黄色いスミレのキバナノコマノツメ



11. 満開のミヤマアズマギク



12. 涼しげな色合いのミヤマオダマキ



13. 2段続く鉄梯子を登る。この前後は強風で風速10m以上あったのではないと思われる



14. 剣ヶ峰分岐 ここを左側に直進する



15. ガスの中の水平道を進む



16. 植物保護のための水平な木道を歩く このあたりは高山植物の宝庫であった



17. マルバシモツケ



18. コイワカガミ



19. コイワカガミの群落



20. ヨツバシオガマ



21. 早池峰山頂上に到着 ガスの中で展望は全くなかったが、植物が癒してくれる



22. 頂上の一等三角点



23. 避難小屋と簡易トイレ専用のトイレ 簡易トイレの無人販売所にもなっている



24. 紫の花はハクサンチドリ



25. ミヤマシオガマ



26. ハヤチネウスユキソウ



27. ガスの岩礫地を下る



28 ピンクの花はナンブトラノオ



29. ミネウスユキソウ



30. キンロバイ



31. 紫がかった色の花はミヤマハンショウヅル



32. イワオトギリ



32. 小田越登山口に下山
これで今回の山行は無事終了。天気はもう一つだったが、可愛いお花を楽しめた素敵な山行であった。
ここから帰路仙台空港へと向かう



33. 空港の中の仙台名物牛タン専門店でも牛タンを食す



34. これがササーンが食べた牛タン定食(1.5人前)